

台東区子供読書活動推進計画 パブリックコメント実施結果

意見受付期間	令和6年12月17日（火）～令和7年1月7日（火）
意見受付場所	区公式ホームページでの受付のほか、各区民事務所・分室・地区センター、区政情報コーナー、生涯学習センター、中央図書館・分室、根岸・石浜図書館で中間のまとめ閲覧・意見受付。
意見受付件数	6人、21件
提出方法の内訳	郵送 0人（0件） ファクシミリ 1人（4件） ホームページ 5人（17件） 持参 0人（0件）

分類	項番	意見	区の考え方 (該当する施策)
基本目標（1）	1	「あかちゃんえほんタイム」については、図書館や公民館等で実施するのではなく、集団検診の場に出張して集団検診のプログラムに組み込んで実施したほうがより多くの家庭とつながれると思います。	「あかちゃんえほんタイム」はあかちゃんも保護者もくつろいだ場で読み聞かせを楽しんでもらうために、現行の方法で行っております。 集団検診などでは、保健所と協力して、乳幼児用の絵本リストなどの配布を行っております。 また、3～4か月児健診の際に、地域で子育て支援の活動を行う区民の団体と協働による交流支援事業を通じ、絵本の読み聞かせなどを行っております。 (施策1 家庭・地域での支援)
基本目標（1）	2	我が家の長子は来年就学なのですが、絵本の一步先、児童書にどうつながっていくかということを課題に感じています。年長～低学年を対象とした「絵本からのステップアップ」「今どきのポスト『こまったさんわかったさん』はこれだ」「アフターゾロリ問題に挑む」のような企画展示やアドバイス講座（読み聞かせやおしゃべり会？）等があったらうれしいです。	幼児から小学生に読書に興味と関心をもってもらえるよう、今後も絵本や児童書に関連したさまざまな行事を行ってまいります。 (施策2 区立図書館の事業の充実)

基本目標 (1)	3	蔵前のオレンジ図書館は小学校や公園に近接という立地を生かしてもっと子供向け(児童図書館)に特化してもよいと思います。亀有のミッカという施設が素晴らしい施設なので、あのような施設に変わってくれたら、ヘビロテします。大人の蔵書は置かず、大人に関しては予約貸し出しと返却だけ対応することにしてはいかがでしょうか。	くらまえオレンジ図書館の蔵書については、児童分野の拡充も含め、利用状況を踏まえながら、今後も進めてまいります。 (施策1 家庭・地域での支援)
基本目標 (1)	4	小学校高学年～高校生に向けて読書会などのイベントをもっと開催してほしいです。名作を読む、話題の本を読む、特定のキーワード(偉人など)や特定の時代を決めて、各々関連小説・書籍を読み込み「〇〇(時代など)にどっぷり漬かる」系のイベント、本(小説やエッセイなど)にまつわるお料理教室、などいろいろ開催してほしいです。低学年向け読み聞かせ会などに比べるとこの年代へのフォローが薄いなど感じています。	10代に読書の楽しさを伝えるためのイベントを、参加者アンケートなどを参考にしながら、今後も実施してまいります。 (施策2 区立図書館の事業の充実)
基本目標 (1)	5	幼児向けおはなし会については、読み聞かせだけでなく音楽コンサートを取り入れたり(私はまだ行けてないのですが、たまに国際子ども図書館でやっているみたいですね)、英語のおはなし会を開いたり、バリエーションを増やすとより幅広い家庭が参加するようになるのではないかと思います。	幼児向けのおはなし会では、読み聞かせだけでなく、手遊びやわらべ歌なども交えて行っています。今後は外国語のおはなし会などにも取り組んでまいります。 (施策2 区立図書館の事業の充実)
基本目標 (1)・(2)	6	区内の図書館の場所は、くまなく設置されていますが、さらに細かく配置してほしいです。子供や長距離の歩行が苦手な人でも行ける距離が理想です。 小学校内、廃校跡地などを利用して、また、建物の利用が難しいようであれば、自動車文庫の時間限定の利用でも助かります。 加えて、中央図書館が工事に入ることによって、子供の読書離れが進むことを	台東区では、区民の皆様のお住まいから概ね半径1km圏内に図書館を配置し、ご利用いただいております。さらに細かな配置へのご要望については、区有施設の余剰スペースや新たな土地の確保が困難なため、現状では難しい状況です。 電子図書館の導入やまちかど図書館の拡充などを行い、中央図書館の休館中においても子供の読書活動を推進してまいります。

		懸念しています。 子供に関しては、学校図書館や児童館は選べる本が少なく、時間も限られているので、図書館が欠かせません。	(施策1 家庭・地域での支援) (施策2 区立図書館の事業の充実)
基本目標(1)	7	中央図書館の場所が「かっぱ橋道具街」のため、自転車で行く場合に危険な立地です。 おとなは検索機能を使って近くの図書館に取り寄せれば良いですが、子供は実際に手を取って本を選びます。 中央図書館以外の図書館の蔵書を、子供から中高生向けに特化しても良いのではないのでしょうか。	中央図書館以外の各図書館では、利用登録者数の約8割から9割を 16 歳以上の方が占めており、子供から高齢者まで幅広い世代の方々にご利用いただいております。 子供たち(0歳～15歳)に、より一層各分館・分室を利用していただけよう、引き続きおはなし会の実施や魅力あるコーナーづくりなどに取り組んでまいります。 (施策2 区立図書館の事業の充実)
基本目標(1)・(3)	8	子供は楽しい本を読めば本好きになり、つまらない本を強要されれば、本嫌いになります。好きな本は人それぞれです。 「課題図書」や「感想文の強制」が本嫌いを作るのだと思います。 マンガでもライトノベルでも、読書のきっかけになります。「課題図書」をやめて、「司書が読んで面白かった本一覧」とか如何でしょうか。	図書館では夏休み前に、課題図書の紹介もしていますが、そのほかに司書が選んだおすすめ本のリストの公開、配布もしております。 今後も子供たちに本の楽しさを伝えるような取り組みを続けてまいります。 (施策2 区立図書館の事業の充実) (基本目標(3)施策1 啓発・広報活動の推進)
基本目標(1)	9	第3章台東区の現状・課題における「今後の課題」において、「家庭、地域、学校等が中心となり、社会全体で取り組むことが必要です」とあります。このうち「地域」についてですが、台東区には、筑摩書房や金の星社などの出版社が所在しています。とりわけ金の星社は、歴史ある児童書専門の出版社です。台東区の児童生徒が本に親しむために、たとえば金の星社の見学や、社員の方々による講演などは実施できないのでしょうか。せっかく台東区に、すばらしい出版社があるのですから、ぜひ子どもたちに知ってもらいます。	子供たちの読書に興味・関心を促進するために、地元企業と協力してイベントを開催するなど今後検討してまいります。 (施策2 区立図書館の事業の充実)

基本目標 (1)	10	障害の有る無しに関わらず、幼い頃からバリアフリー図書(点字絵本、LLブック、布絵本、大活字本、マルチメディアDAISYなど)に触れることが、社会的なバリアフリー教育になります。それらが必要な子供たちのためにも、台東区でこどもとしょしつに「りんごの棚」https://appleshelf.jp/の設置を検討してください。(豊島区立中央図書館など参照してください)	現在もバリアフリー図書については、まとめて配架をしているところですが、今後の中央図書館のリニューアルの中で、配架方法や表示について検討してまいります。 (施策2 区立図書館の事業の充実)
基本目標 (1)	11	今回の計画の5年間のうち1年2か月は中央図書館の現在所蔵する蔵書が借りられない時期となります。これまで中央図書館を利用していた子供や親子の読書活動を支える方策、代替案を広く協議して実施して頂きたいです。近隣の児童館、子ども家庭福祉センターなどでの貸出利用を勧めるための広報連携も是非ご検討ください。大人の一年間と子供の一年間は重みが異なります。子供の読書は趣味ではなく、生きる力を育むものです。中央図書館長期休館が子供読書活動空白期間とならないよう切に願います。	中央図書館休館中における子供や親子の読書活動を支えるために、電子図書の導入やまちかど図書館の拡充で対応してまいります。また、児童館など子供や乳幼児親子向け図書コーナーのある近隣施設のご案内を、関係機関と連携して行ってまいります。 (施策1 家庭・地域での支援) (施策2 区立図書館の事業の充実)
基本目標 (2)	12	読書が好きなことと読書感想文が書きたいかどうかは別話なので、読書感想文については好きな子はどんどん書けばよいと思いますが、そうでない子に押し付けすぎないように慎重に取り組んでほしいと思います。	読書感想文の指導は学校が主体となって指導しております。全ての児童・生徒が発達の段階に応じて、読む楽しさや表現する喜びを味わうことができるよう学校に指導・助言してまいります。 (施策1 学校での活動の推進)

基本目標 (2)	13	第3章台東区の現状・課題における「区立小・中学校図書館」の項(6ページ)において、「小中学校での蔵書数については、文部科学省が平成5年に学級数に応じた標準的蔵書数を定めています。令和5年度末現在、全ての台東区立小学校・中学校とも図書標準を達成しています」とのこと、たいへん喜ばしいことかと思えます。けれどもその蔵書の質はどのようなのでしょうか？たとえばいま外国籍や海外ルーツの子どもたちが、たくさん区立小中学校に通っているかと思いますが、そのような子どもたちを差別し傷つけるような、いわゆる「ヘイト本」が収蔵されていないかが心配です。また台東区は平和教育に力を入れていることと思えますが、昨今では『はだしのゲン』が残酷であるなどの理由で、学校図書館から排除されることもあると聞きます。『はだしのゲン』はすぐれた平和教材かと思われますので、台東区の小中学校にもぜひ収蔵されることをお願いいたします。	選書においては、各校が行っております。その際、児童・生徒及び教職員のニーズに応じた偏りのない調和のとれた蔵書構成となるよう選定に努めております。今後も、全児童・生徒にとって、よりよい読書環境を整備してまいります。 (施策2 学校図書館の充実)
基本目標 (2)	14	今回の資料を読んで、まず驚いたのが児童・生徒の不読率の高さです。 都の数値と比較しても、台東区の「本を読まない子供」の割合の高さは顕著です。 大変残念なことに第四期の推進計画による目標値にはほど遠く、令和元年度に比べても倍増しています。 全国レベルで子供の読書活動推進計画が進められている中、この数値を見る限り台東区は大きく後退していると言わざるを得ません。不読率改悪についての原因を探り、抜本的な改革をする必要があると感じます。	不読率については、令和元年度は1か月あたりの冊数、令和6年度は1日あたりの時間として調査を実施しているため単純比較はできませんが、ご指摘のとおり、課題として捉えております。学校においては、朝の読書活動や委員会活動により読書への啓発活動を継続的に行っております。今後も引き続き、児童・生徒に対して、発達の段階に見合った読書環境を提供し、学校における読書活動を推進すべく、家庭と連携しながら進めてまいります。 (施策1 学校での活動の推進)

		「(区立)図書館が中心となって」という文言が頻出していますが、不読率に関して言えば、図書館や家庭よりも「学校」での取り組みが何より重要だと思います 一時期普及していた「朝読書」の現状はどうなのでしょう。本資料では、一部の取り組みでも全区で実施されているような記述が目立ちます。読書推進はかつては、熱心な先生がいるかないかで学校間格差が生じていました。学校別のデータなども分析し、学校間格差の解消も含めた、全区的取り組みに期待します。	
基本目標 (2)	15	司書さんのお仕事のうち「リファレンス業務」について、私は大学時代に初めて学んだのですが、もっと早く知っていたら中高時代に役に立っていたスキルなのではないかと感じました。そこまで深掘しなくてよいので「あなたも探偵！リファレンスの基礎」のような緩い形で10代向けにスキルのおすそ分けをしていただけなら子供たちの世界が広がるのではないかと思います。とくにインターネット全盛の現代において、若いうちに「原典にあたる」という感覚を養っていくことは大切なことだと感じています。	子供たちが自分で本を探して、調べ物ができるような手伝いとなるよう、調べ学習の手引きを作成、配布しております。また、あるテーマについて調べるときに役立つ資料やツールを紹介した情報検索ガイドであるパスファインダーを作成しており、内容の充実を図ります。 (施策2 学校と図書館の連携・協力)
基本目標 (2)	16	学校での読書活動推進を図書館がサポートするにあたって。連携を強化するには図書館の人員(専門職を含む)が足りていないのではないのでしょうか。令和5年度の訪問事業が、小学校・保育園あわせて「11クラス」でしか行われていないことにも驚きました。読まない子供の理由のひとつが「読みたい本がない」です。絵本から読み物への移行期に全小学校で図書館職員がブックトークを行うなど、他区ではもっと訪問事業が行われています。ボランティアまかせではなく、	現在、図書館職員が行っている訪問おはなし会やブックトークについては、学校や園からの依頼に応じて行っています。利用促進を図るため、実施方法や周知などに工夫を凝らして、今後も学校等訪問先とスケジュールを調整しながら進めてまいります。 (施策2 学校と図書館の連携・協力)

		学校の先生や図書館員が子供たちに積極的に読書を勧める機会を増やしてください。	
基本目標 (2)	17	調べものの学習やテーマがなく自分で調べたいものがある場合、現状の蔵書では、十分に調べられないと思いました。学校はもっと少ないので、図書館はもっと充実して欲しいです。結局ネットで調べるになってしまいそうです。	調べものの学習に使える本について、今後他の分野とのバランスを考えながら、購入していきます。また、新たに電子図書を導入することにより、学校での調べものの学習環境の向上を図ります。 (施策2 学校と図書館の連携・協力)
基本目標 (3)	18	アンケートでイベントを望む方が多いのと、イベントがあった事を知らなかった人が多いのが、目につきました。こうした方々が本当にイベントに参加してくれたらもっと盛り上り図書館にも足を運んでもらえると思います。現状の告知、PRの検討と他に何か効果的なPRがあれば追加して頂けたらと思います。	イベントの周知について、新たな手法なども検討し、参加促進につながるよう、努めます。 (施策1 啓発・広報活動の推進)
その他	19	本計画の策定に関わった機関或いはメンバーの掲載を求めます。	計画の完成版には検討委員会等の名簿を掲載します。
その他	20	街の書店の絵本コーナーも狭くなる昨今、絵本がずらーと並んでいる空間は壮観です。どれでも手に取り選べる楽しさを味わえます。こどもしつの充実拡大をお願いします。	リニューアルを進める中で、本を手に取り選べる楽しさが増すような、魅力的な空間づくりを進めてまいります。

その他	21	図書館が子どもの居場所のひとつになれば良いと思いました。その為には、子どもがゆっくり読書できる場所が(難しいと思いますが)あると良いと思いました。	こどもとしょしつに限らず、図書館全体でゆっくり読書ができるスペースについて、考えてまいります。
-----	----	---	---